



2025～2026年度



週報 糸魚川

2025.10.30
第3054例会

No.16

◆会 長 赤星賢二 ◆クラブ会報雑誌 長谷川淳一
◆例 会 場 ヒスイ王国館 糸魚川市大町1-7-11 TEL.025-553-1210
◆例 会 日 毎週木曜日 12:30～13:30
◆創 立 1960年9月10日 ◆承認 1960年10月12日
◆事 務 局 新潟県糸魚川市寺町 糸魚川商工会議所内 TEL.025-552-1225
◆糸魚川RC HP <https://www.itoigawa-rc.jp/>
◆第2560地区HP <https://www.rid2560niigata.jp/>

● 本日のプログラム ●

- ・点 鐘
- ・四つのテスト
- ・会 歌 奉仕の理想
- ・会長挨拶
- ・幹事報告
- ・委員会報告
- ニコニコ箱担当委員
- その他委員会
- ・卓話

糸魚川警察署

交通課 課長 柳 昭平 様

「交通事故の発生状況」

- ・点 鐘

食 事 12:00～
例 会 12:30～
ガバナー講話 12:50～
会 場 ヒスイ王国館
歓迎会場 割烹 倉また 18:30～
会 費 3,000円

◇高田RC創立70周年記念式典・祝賀会開催案内

日 時 11月8日(土)
受 付 13:00～
記念講演 14:00～15:30
記念式典 16:00～17:00
祝賀会 17:30～19:00

会 場 デュオ・セレッソ
出 席 者 赤星君、藤巻君、長谷川君、
樋口君、永野雅君、大島君、
佐藤君、田邊君

※中央RCと合同でバス乗車

◇社会奉仕事業「一人暮らし高齢者お楽しみ会」 景品仕分け作業開催案内

日 時 11月11日(火) 13:15～
会 場 糸魚川商工会議所1階 中会議室

◇社会奉仕事業「一人暮らし高齢者お楽しみ会」 (移動例会)開催案内

日 時 11月12日(水)
集 合 9:10 (開会 10:00)
講 義 10:10～
アトラクション(抽選会) 11:00～
閉 会 11:40
会 場 ビーチホールまがたま(多目的ホール)

ニコニコ箱 10月23日 *****

小田島修平君 本日は卓話、クラブ協議会よろしく
お願いいたします。
赤星 賢二君 縄文の森整備作業、皆様のおかげ
で無事終了いたしました。ありが
うございました。
斉藤 直文君 皆様のおかげで無事IMを終えるこ
とができました。ご協力ありが
うございました。
藤巻 賢策君 IM無事に済み、皆様ご苦勞様でし
た。本日の草刈り作業も汗してい
だきご苦勞様でした。

次回例会プログラム

◇11月6日(木) 室賀ガバナー公式訪問

出席報告

◆10月23日(木) 17名

幹事報告

◆10月23日に長者ヶ原遺跡にて社会奉仕事業
「縄文の森草刈り」が開催されました。

参加者 赤星君、藤巻君、平野君、猪又一君、
倉又君、小田島君、大島君、佐藤君、
杉森君、歌川君、山口君、松澤和君、
後藤君、長谷川君

◆10月25、26日にホテルイタリア軒にて
2025-26年度地区大会が開催されました。

参加者 【両日】赤星君、岡島君、小田島君、
佐藤君、猪又勝君
【2日目】松木君、平野君、猪又一君、
猪又直君、杉森君、渡辺澄君、
樋口君、倉又君

◇2025-26年度ガバナー公式訪問並びに歓迎会

日 時 11月6日(木)

◆中央RCコーナー

10月31日(金) ゲスト卓話

あいおいニッセイ同和損害保険(株)

新潟支店 支店長 鈴木裕一郎様

「安全配慮義務違反について」

◆個人寄付 10月23日 (4名 12,000円)

氏 名	スマイル	R財団	米山財団
小田島修平 君	1,000	1,000	1,000
赤星 賢二 君	1,000	1,000	1,000
斉藤 直文 君	3,000		
藤巻 賢策 君	1,000	1,000	1,000
合 計	6,000	3,000	3,000

10月23日の卓話*****

ガバナー補佐講話

小田島 修平君



私は1998年、37歳の時に糸魚川RCに入会しました。入会以前から青年団などで地域を盛り上げる活動はしており、地域をよくしたいという気持ちはずっと持っていました。

ロータリーに入会した時は若く、錚々たるメンバーに囲まれ萎縮しながら例会などに出席していましたが、「俺も若い時は周りに気にかけてもらった」とメンバーの方々に色々話しかけてもらい馴染むことができ、ロータリーはそういう助け合いの場所なんだと実感しました。

2002年に初めて幹事を担当することになった時は、「周年事業が無い時にやった方がいい」と言われ、半ば強制的に幹事に就任し、非常に緊張し、よくわからず事業を行った記憶があります。その経験があったからか2010年に2回目の幹事を担当した時は、周年事業に当たってしまったのですが、最後にはちょっと楽しいなと思えるほど余裕が生まれました。

2011年に会長エレクトに就任した時は、その時のガバナーの糸魚川ロータリークラブの細則・定款を指摘されました。今まで細則や定款など気にしていなかったのですが、その時にクラブの在り方を見直した事で気にかけるようになりました。現在の細則・定款はこの時に作られたものです。

そして、2012年に初めて会長に就任しました。当時のRI会長が日本の方で、田中作治さんという八潮市ロータリークラブの方で、出身が栃尾で新潟ゆかりの方でした。この年は会長としてドイツへ留学生の派遣、中央RC主催のライラ研修に協力など行いました。

2016年には3回目の幹事を担当しました。流石に3回目の幹事となると余裕が生まれ、楽しくやりました。しかし、この年の12月に糸魚川大火が発生し、通常の年であれば、12月の年次総会を過ぎれば楽になるのですが、被害者支援に追われたりと、大火の影響で最後まで気の抜けない1年でもありました。

そして、今年度ガバナー補佐として拝命させていただきました。去年の7月くらいからガバナー補佐セミナーなどがあり、3回ほど参加しました。その中で一番衝撃を受けたのは大谷光夫さんの「IMは最優先事項ではないし、事情があるならやらなくてもいい」という言葉でした。しかし、第7分区のロータリアンが一堂に会する機会は他にないという考えから、今回開催させていただきました。

ガバナー補佐として各クラブを訪問し、クラブ毎に例会のやり方は色々だと知りました。例えば、糸魚川RCはS A Aさんが全部やっている司会もクラブによっては幹事が全て担当したり、S A Aと幹事が担当区分を決めて交互にやったりと色々でした。昼食時の音楽も80年代ポップス、演歌など様々で楽しめました。

出席率にも違いがあり、特に高田東RCは高い出席率で、それに対し、直江津RCは出席率が低く、この2つのクラブの違いは中核となるメンバーが参加しているかどうかにあったように感じます。

また、糸魚川RCと他のクラブの違いとして、糸魚川RCは奉仕活動が盛んで、上越ではインターアクトやローターアクトなど青少年向けの活動を多くしているといった印象を受けました。

このように各ロータリークラブで様々な特色がありましたが、このクラブのやり方が正しいとか駄目だとかといった事ではなく、ロータリーは自由でなんでもありなのだ実感しました。

社会奉仕事業「縄文の森草刈り」

10月23日(木) 参加者 14名

